

◆ あとがき ◆

日本の透析水準は高いと言われるが、透析療法の変遷のなかでどこまで進化したのだろうか。また、わが国は超高齢化社会を迎えており、透析患者の高齢化も進んでいる。果たして、現在の透析療法は高齢患者層に十分対応しているのだろうか。今回のテーマ「透析療法の課題、展望」では、透析療法の進歩と課題について透析患者層の変化を踏まえて検証する。さらに、小児や腎移植後再導入患者など、患者数が少ない領域における問題点や課題についても掘り下げた内容である。

総論では、血液透析・血液透析濾過（HD/HDF）の問題点として廃棄物とエネルギー利用、透析排水など浄化システムの問題について、PDでは透析液の性状と合併症、残腎機能保持と溶質・除水維持に関する問題が挙げられている。HD/HDFの各論では、透析液電解質組成、血液浄化器の機能と生体適合性、HDF置換液量、適正透析の評価、透析量と効率、長時間透析とオーバーナイト透析などについて、現状と課題が述べられている。PDの各論では、総論のなかで問題点として挙げられた項目について、それらの詳細が記載された。小児はPDでの腎不全管理例が多いが、そもそも腎代替療法を施行された患者数が少なく、また、新生児や低出生体重児や深刻な生命的・神経的予後の小児などにおける腎代替療法のあり方など、議論となる多くの課題があることがわかる。腎移植後再導入では、特に免疫抑制薬の管理と心理的・精神的サポートの重要性が述べられている。

高齢者の適正透析の項に維持透析患者のアンケート調査結果として、高齢者・非高齢者ともに「長生きしたい」が第1位の希望であったことが記載されている。少しでも透析療法の問題点が解決され、末期腎不全患者の健康寿命の延伸に向けて前進できればと思う。

本田 浩一

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1
本郷宮田ビル5階 ☎03-3814-8541
メディカ 〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9
アド 第1長谷川ビル2階 ☎03-5776-1853（代）

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は©東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構（電話03-5244-5088、FAX03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

『腎と透析』次号予告——第98巻第2号（2月号）

特集 腎臓リハビリテーション up to date

総論

腎臓リハビリテーションの現状と課題……山縣邦弘
腎臓リハビリテーションを楽しむために……石岡邦啓・他
生活機能評価……齊藤正和
腎臓リハビリテーションへの期待：
医療経済学の視点から……田倉智之
オーラルフレイル……小原由紀
足病変を有する患者に対する
リハビリテーション……今岡信介

各論

CKD患者に対するリハビリテーション
透析予防のためのCKDチーム医療の効果……阿部雅紀
糖尿病関連腎臓病の包括的集学的治療……荒木信一
保存期CKD患者に対するリハビリテーションの
ポイント……平木幸治
透析施設を対象とした腎臓リハビリテーションの
現状……祖父江理
透析患者に対するリハビリテーションのポイント
……森本耕吉
理学療法士のいない透析施設における運動療法
……大山恵子
運動による身体効果：最新の話題
運動/フィットネスクラブと異所性脂肪の
役割……田村好史
認知症予防のためのリハビリテーション……音部雄平
医療保険のリハビリテーションと介護保険の
リハビリテーション……松岡見咲・他
近赤外線分光法のリハビリテーションへの
応用……椿 淳裕・他
血液透析患者の臓器内局所酸素飽和度……伊藤聖学
生活習慣病に対する治療用アプリの実際……野村章洋
栄養
食塩とサルコペニア・フレイル……西山 成
植物性たんぱく質・動物性たんぱく質……坂口悠介
回復期リハビリテーションにおける
CKD患者の栄養管理……西岡心大
トピックス
疲労のメカニズム……渡辺恭良

名誉主幹／酒井 紀	秋澤忠男	飯野靖彦	
編集顧問／五十嵐隆	遠藤 仁	小椋陽介	川村哲也
木村健二郎	小磯謙吉	小山哲夫	酒井聡一
坂井建雄	佐中 孜	塩之入洋	高市憲明
堀江重郎	細谷龍男	矢崎恒忠	山口 裕
山田 明	竜崎崇和		
編集主幹／有村義宏	小林修三	新田孝作	
編集委員／青柳一正	安西尚彦	安藤亮一	伊藤秀一
河原克雅	菅野義彦	清水 章	高橋公太
高橋 悟	坪井伸夫	長田道夫	服部元史
平和伸仁	星野純一	本田浩一	横尾 隆

第98巻第1号
©2025年1月25日発行
定価 3,190円
（本体2,900円＋税10%）

編集 腎と透析編集委員会

発行所 株式会社 東京医学社
〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16
URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>
編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649
E-mail: jin@tokyo-igakusha.co.jp
営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629
E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2025年前金予約購読料1カ年50,600円（増刊号含む、税込）